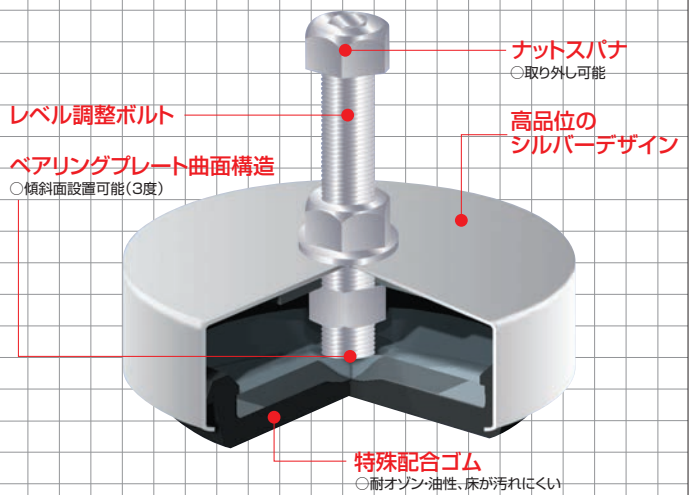


# HI-MOUNT M



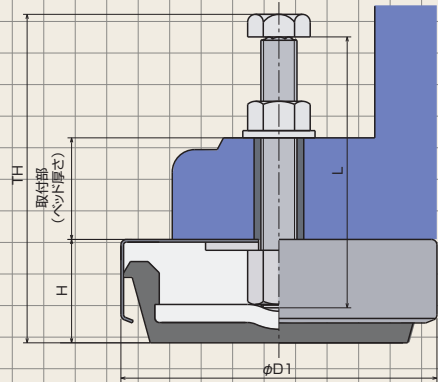
## 仕様

- ・防振ゴム: クロロブレン系ゴム
- ・ベ어링プレート: SPHC、SS400
- ・ハウジング: SPCC スパークシルバーメタリック(メラミン焼付け塗装)

ボルト類: SS400 ユニクロめっき

傾斜面設置(許容勾配: 3度以下)の場合は最大調整量の50%以下でレベリングしてください。

(M-19\*は傾斜設置状態でレベリングアップできません。ジャッキアップ後の微調整でお使い下さい。)



特に設置面への振動を抑えたり、床からの振動を機器に伝えたくない場合に適します。

(単位:mm)

防振性能重視	A type	最小荷重 N	最大荷重 N	ばね定数 N/mm	φ D1	(H)	レベル調整量	d	L	TH	取付可能 ベッド厚
M-10A	1550	3100	1200	100	39	+18	M12	90	121	~42	
								*120	151	~72	
								*200	231	~152	
M-14A	3100	6300	2400	140	47	+19	M16	*90	127	~35	
								120	157	~65	
								*200	237	~145	
M-19A	6300	12500	4800	190	56	+25	M20	120	164	~51	
								*200	244	~131	

注) A, B typeの外形寸法は同じです。\*印のボルト長は標準です。

防振性と安定性をバランスよく支持したい場合に適します。

(単位:mm)

標準特性	B type	最小荷重 N	最大荷重 N	ばね定数 N/mm	φ D1	(H)	レベル調整量	d	L	TH	取付可能 ベッド厚
M-10B	3150	6300	4600	100	39	+18	M12	90	118	~39	
								*120	148	~69	
								*200	228	~149	
M-14B	6300	12500	9200	140	47	+19	M16	*90	127	~35	
								120	157	~65	
								*200	237	~145	
M-19B	12500	25000	18300	190	56	+25	M20	120	164	~51	
								*200	244	~131	

注) A, B typeの外形寸法は同じです。\*印のボルト長は標準です。

安定性を重視したり、機器の振動が少ない場合に適します。

(単位:mm)

安定性重視	H type	最小荷重 N	最大荷重 N	ばね定数 N/mm	φ D1	(H)	レベル調整量	d	L	TH	取付可能 ベッド厚
M-10H	7500	15000	23000	100	35	+22	M12	*90	107	~28	
								120	137	~58	
								*200	217	~138	
M-14H	15000	30000	46000	140	42	+24	M16	*90	111	~19	
								120	141	~49	
								*200	221	~129	
M-19H	20000	40000	62000	190	54	+27	M20	120	148	~36	
								*200	228	~116	

\*印のボルト長は標準です。

# Mシリーズ 選定方法

## 1. 機械の種類と支持荷重から選定する方法 (グラフ下の表を参照ください。)

1. グラフ下表から機械を選択し、適合するハイマウントのtypeを選択します。
2. マウント1箇所当たりの支持荷重を求めます。
3. グラフの支持荷重を横にたどり、適合するtypeとの交点を求めます。
4. 適合品が無い場合は使用する数や配置を変え支持荷重を変更し再選定してください。

### ■選定例

- 機械種類……………インジェクション
- 選択type……………グラフ下表からHtypeを選択
- 支持荷重……………11500N グラフよりM-10Hが適合

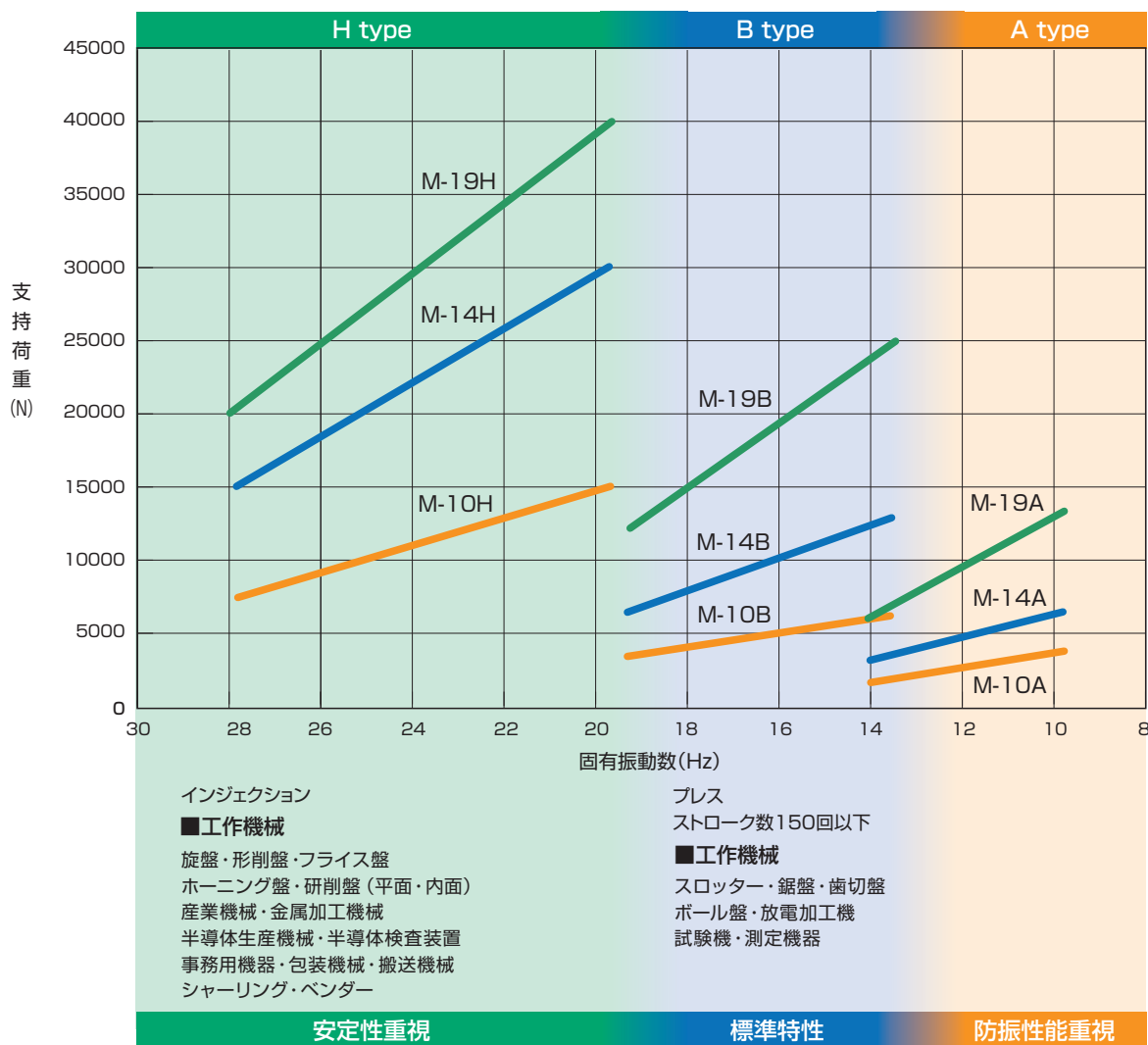
## 2. 防振性能から選定する方法 (定常的な振動を防振する場合)

1. 機械の加振周波数を求めます。
2. マウント1箇所当たりの支持荷重を求めます。
3. グラフの支持荷重を横にたどり、各typeとの交点を求めます。
4. その位置から下にたどり、固有振動数を求めます。
5. 一般に機械の加振周波数が求めた固有振動数の2倍以上であれば、防振効果があります。逆に√2倍以下であれば共振域に入りますので再選定してください。

### ■選定例

- 支持荷重……………21500N
- 加振周波数……………40Hz
- 固有振動数……………14.7Hz グラフよりM-19Bを選定
- 振動数比…………… $u=40/14.7=2.72 > 2$  OK

## ■Mシリーズの支持荷重と固有振動数



※Atypeは防振ゴム部を非常に柔らかくしてあります。Btype以上の防振効果が必要な場合効果的ですが、加振力の大きな機械に取り付けた場合機械の揺れが大きくなる場合がありますのでご注意ください。

※異なるサイズのマウントを支持部の荷重に合わせて使用する場合、固有振動数が同等になるように選定してください。

※固有振動数から選定する場合は機械の加振力が上下方向に発生している場合に適用してください。